

2022年度 事業報告書

1. 自転車をつなぐ山・里・まち・海プロジェクト～環境教育によるしまなみのブランド力向上事業～ (2022 年度地球環境基金助成金/ 3 か年事業)

しまなみ自転車キャンプを通して、拠点①ゲストハウス“なみトみなと”におけるサイクルツーリズムのオペレーション体制構築、拠点②“シクロ農園”における環境学習の機能整備を行なった。山から海へつながる地形、それを基盤とした生物多様性や土地利用のモニタリングをすすめる、旅人と住民双方へのガイド機能を実践させた。

(1) 二次的自然の保全を基盤にした誘客プログラムの構築

《アウトカム》自然と人のつながりを求める旅行者の増加と地域住民の担い手育成

サイクリングとキャンプを組み合わせ、自然環境に寄り添いながらの地域回遊と滞在を促す事業。春、夏、秋のシーズンごとのモニタリングを行い、モニターとの対話、アンケートによる意見収集から、地域のファンづくりにつなぐためのアイデアを抽出した。

《アウトプット》

○キャンプ道具整備 →2023 年度も継続的にモニタリング。

キャンプ道具消耗資材、運搬具付きバイク整備追加、電動アシストユニット付自転車整備を進めた。

○「しまなみ自転車キャンプ」パンフレット制作 →1000 枚配布。2023 年度はしくみの周知へ。

しまなみ自転車キャンプパンフレットを製作した。

○ネイチャー体験の魅力を伝える動画を制作・配信 →環境配慮志向の高いターゲット層への興味喚起
瀬戸内国立公園内のキャンプ地紹介と主要貸出用具の使い方の動画を製作した。

○WEB での広報（ホームページ構築《英語化》 →なみトみなと機能整備。

自転車でキャンプするユーザーへの情報発信を英語・日本語で整えた。

(2) 山・里・まち・海つながり拠点の創出

《アウトカム》学び場の構築により、地域住民と旅行者の交流創出

調査及び研究を旅人・住民双方の参画型で開始し、文化的サービス提供拠点化の活動を開始した。「シクロ農園」を学び場として再構築し、地域住民と旅行者の交流が生まれた。新たな導入作物、周辺の誘導路や園地の整備・維持への意欲向上にもつながった。

《アウトプット》

○調査とその報告会の実施 →2023 年度も調査を継続。

年間を通してエリア内の調査を実施。専門家を招聘しての説明会には 20 名が参加。

○「シクロ農園」周辺園地との交流 →二次的自然の保全に向けた啓発の継続

自転車キャンプ来訪者、周辺の子供達達の来訪増加による意識変容を確認。

○世代間交流拠点の整備 →2023 年度も「シクロ農園」の機能強化。

第一期工事により、土間が完成。地域の未就学児や児童、生徒を安全、快適に受入れる環境整備に。

(3) 地域に確立された自転車新文化推進体制へのコミット

《アウトカム》地域資源保全につながる自転車旅行推進に向けた地域連携の体制強化

なみトみなと、シクロ農園を拠点に、多様なステークホルダーが関わりあひながら、地域の二次的自然等の活用を通して、その保全を具現化する。全体構想（「自転車旅行推進宣言(仮称)」）を示すことでガイドの育成、ガイドンスツールの作成。自転車の聖地としてのブランド力向上につなぐ。

《アウトプット》

○セルフガイドンスツールの製作 →2023 年度は住民向けツールの製作

「ガイドの学習教材/ネイチャー体験教本」製作と地域の担い手等への配布



3. サイクリスト向け情報発信コンテンツ運営管理委託業務

フェイスブック「しまなみサイクリングパラダイス」やホームページ「しまなみ自転車旅の宿」の運営を通じて、瀬戸内しまなみ海道をサイクリストの聖地として広く国内外にアピールした。

① フェイスブック「しまなみサイクリングパラダイス」の運営

「しまなみ海道」サイクリングの基本的情報、休憩所「サイクルオアシス」、取材に基づくしまなみエリアの新しい店の紹介を精力的に行った。コロナ禍が長引くなか、修学旅行の体験プログラム、キャンプやグランピングなどの時代の変化に沿った新たなニーズによる来訪が増えており、こうした来訪者の実体験についても記事化し配信した。

(1) カバー写真の更新

毎月1回、季節感のあるしまなみ海道エリアの写真を更新した。「しまなみ海道」や「ゆめしま海道」の橋梁美の印象が残るよう、時間ごとに表情を変える「橋」の風景を厳選した。

7月/いいね:44件 ▶



(2) 取材及び記事の投稿

3日に1回の頻度で記事を投稿した。また月に1回、英文で基本情報を発信した。11月からは月1回動画映像も配信した。持続可能な自転車旅行者誘客に向け、地域の多様な主体の取り組みがあり、積極的に配信した。なお、コロナ禍で積極的な誘客を控える時期は、国、基礎自治体の方針に沿った記事の作成と配信に努めた。

最もインプレッションが高かった記事 (2022年8月4日投稿)

リーチ数：1626 エンゲージメント：194

 **しまなみサイクリングパラダイス**
作成者: Aimi Yoshimura [?] · 8月4日 · 🌐

【サイクリストの方に手ぬぐいプレゼント～来島海峡サービスエリア】

しまなみ海道のサービスエリア (SA) ・来島海峡サービスエリア。一般道から徒歩や自転車で出入りできる特徴あるSAです。自転車の休憩所「サイクルオアシス」にもなっているSAから、「夏休み特別企画」のお知らせです。来島海峡SA「サイクルオアシス」インフォメーションをご利用のサイクリストの方に、オリジナル手ぬぐいをプレゼント！期間中にぜひ、お立ち寄りください。

期間 2022年8月1日 (月) ～8月31日 (水)

場所 しまなみ海道来島海峡SA インフォメーション「サイクルオアシス」営業時間内

概要 来島海峡SA限定「わたる手ぬぐい」等のプレゼント
※自転車用ヘルメットをインフォメーションへご持参下さい。
※1人に付き1枚となります。(種類は選べませんので予めご了承ください)

※数量限定でのプレゼントとなりますので無くなり次第終了となります。
詳しくは「はしやすめ」<https://www.jp-highway.co.jp/sapa/kurushima.php>

#しまなみ海道 #サイクリング #自転車 #今治 #愛媛 #四国 #みきゃん



フォロワー数は3,328名(2022年2月28日現在)となった。前年比で17名増加、性別の割合に変化はない。上半期は8月に配信した「サイクリストに手ぬぐいプレゼント～来島海峡SA」、下半期は11月に配信した「せとうちみなとマルシェ」は高リーチ数を獲得。感染症対策の緩和をうけ、各地でイベントが再開されたり、インバウンドの渡航が開始したりし、地域への入込が増加している。ファン定着を目指し、読者の興味を引く記事、サイクリングルートの情報等の基本的な記事を中心に、歴史や文化・食等につまわるコンテンツを織り交ぜた発信を継続した。今後も地域資源の魅力を再発見できる記事により、新たなファンの獲得も目指したい。

② ホームページ「しまなみ自転車旅の宿」の運営

自転車の安全な保管やメンテナンススペースの有無、外国語対応の可否など、サイクリストフレンドリーな宿泊施設情報を提供し、瀬戸内しまなみ海道へのサイクリストの誘客を図った。

4. サイクリスト受入施設向け研修業務

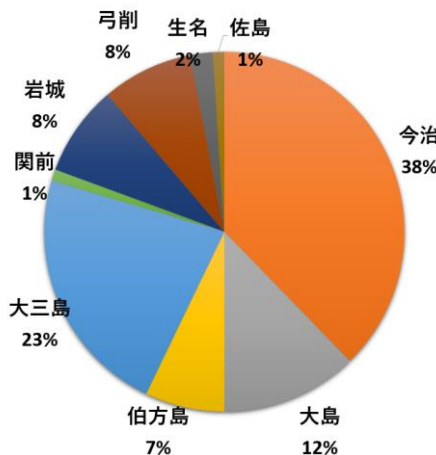
サイクルオアシスに登録されている宿泊施設、観光施設、飲食施設及び小売事業者等を対象に、サイクリスト受入状況に関する実態調査を実施するとともに、調査結果を基にサイクルツーリズムやインバウンド等の理解を深める研修会を開催することで、施設同士の交流を図り、しまなみ地域全体での更なるサイクリスト受入体制の向上を図った。

(1) 調査の実施

サイクルオアシス（約100施設）の受入状況や来訪者の動向、インバウンド対応等については以下の通り。

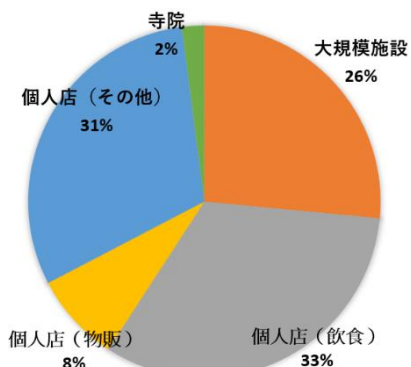
① 属性等の把握

サイクルオアシス登録施設の場所



▲ 2011年に20ヶ所（島しょ部のみ）から整備スタートとなった休憩施設は、尾道市及び愛媛県下にネットワークを拡充。現在、今治市・上島町で約100ヶ所となっている。

サイクルオアシス登録施設の属性

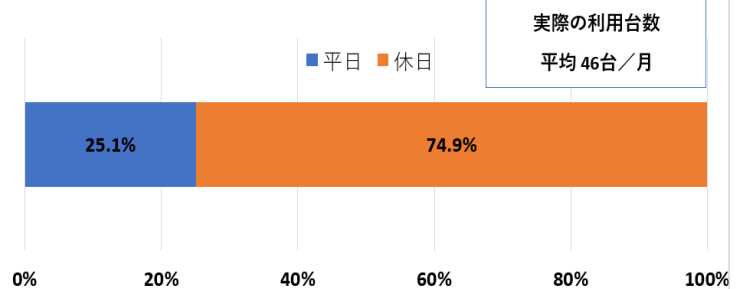


▲ 整備開始当初から、個店や寺院等の小さな拠点が軒先を開放し、運営に参画している。道の駅、大型商業施設等は地域のランドマークとしての登録がある。



サイクルオアシスの利用状況

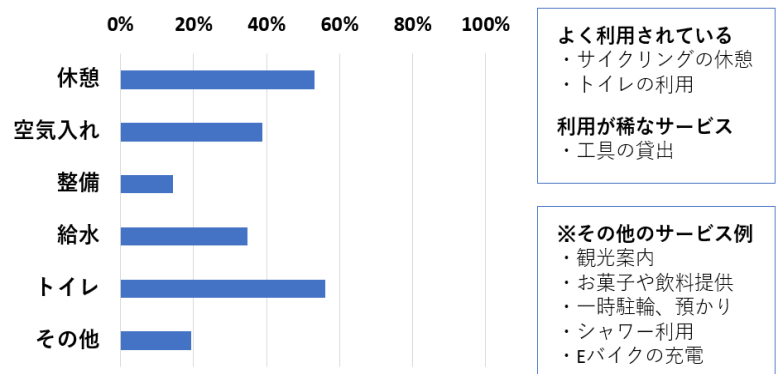
平日と休日の利用者割合（全体平均）



実際の利用台数
平均 46台/月

▲ 利用者数は1～500/月と幅が大きい。商業施設でない場合、カウントができていない場合もある。またコロナ禍で利用は限定的で

サイクルオアシスの利用状況（複数回答可）



よく利用されている
・サイクリングの休憩
・トイレの利用

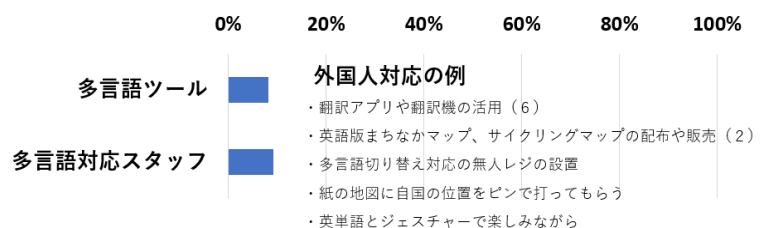
利用が稀なサービス
・工具の貸出

※その他のサービス例
・観光案内
・お菓子や飲料提供
・一時駐輪、預かり
・シャワー利用
・Eバイクの充電

▲ 大三島等を中心に「トイレ利用」の回答が多い。休憩施設として、コミュニケーションをとりながらの情報提供が期待できる。

サイクルオアシスの外国人利用状況

外国人サイクリスト受入について



外国人対応の例

- ・翻訳アプリや翻訳機の活用（6）
- ・英語版まちながマップ、サイクリングマップの配布や販売（2）
- ・多言語切り替え対応の無人レジの設置
- ・紙の地図に自国の位置をピンで打ってもらう
- ・英単語とジェスチャーで楽しみながら

▲ コロナ禍でインバウンドの受入は少ない。昨今の翻訳アプリ等の普及で、工夫しながらの対応が始まっていることがわかる。

(2)研修会の開催

日 時 令和5年 1 月31日(火)13:30～15:30

会 場 WAKKAカフェ（今治市上浦町井口6691-1）

参加者 22名

（しまなみ地域のサイクリスト受入施設・DMO・行政関係者・等）

全世界から自転車愛好者を受入れる「しまなみ海道」において、自転車旅を支える「サイクルオアシス」のしくみは受入環境の整備の一つとして高く評価されている。気軽な休憩場所、温かい交流を楽しむ拠点として認知され、地域内での登録希望施設は増加傾向である。一方で、安全なサイクリング支援など、求められる機能への不安の声が聞かれるのも事実だ。

本座談会は「サイクルオアシス」の担い手の方にお集まりいただき、日ごろの運営について共有する機会とした。現況の受入環境の課題やそれぞれの拠点での実践を交え、建設的な意見交換を進めることができた。また、同じ地域で活動する「サイクルオアシス」の担い手が一同に会することで、顔の見える関係づくりを進める機会となると同時に、より安心、快適にサイクリングできる環境整備を一体的に進める機運を醸成することができた。



▲会場協力いただいた「WAKKA」
絶景に包まれたカフェは参加者を和やかに。研修会終了後は施設見学を実施。

★サイクルオアシスネットワークへの期待

整備開始から10年！新たなステージへ
交流を基本に、サービス化がビジョン



担い手・拠点が地域活性化の要
顔の見える関係づくりが一步
情報発信、連携した取組強化へ



事例紹介とよりよい運営に向けた意見交換

○レンタサイクルの予約状況から。

→GW、SWは予約上限まで埋まる

予約できない＝しまなみに行かない 遠路来訪者の声

○電動型の自転車への注目から。

→初めての来訪者が驚く、しまなみのアップダウン
橋上までの連絡路の上りでも大変 との声

○情報で走り方が変わる事例から。

→リピーターが多いしまなみの愛好者
ルート、立ち寄りポイントの発信力は実施済

○レスキューサービスは発展途上

→レンタルは（一社）しまなみジャパンが回収
マイバイクへの支援は「料金」「時間」が課題
（故障地点までの交通費と時間がネック）

○外国人サイクリストへの対応は

→コロナ前の直近1年は外国人レンタサイクル貸出数
は約7倍の伸び率（以下参照）
インバウンド受入れは地域経済発展に不可欠

予約と当日貸出しのバランスの見極め
繁忙期に合わせた台数配備には懸念
どう回していくかを念入りに検討

多彩な楽しみ方のための選択肢として定着
ステーションにE-bikeの配備を充実
海外の事例（軽快車型の電動バイク等）

《オアシスネットワークで実現できないか》

*ハッシュタグで情報拡散
*サイクリスト巻き込み型の情報発信

《オアシスネットワークで実現できないか》

*パンク修理サービス（プロではないこと前提）
修理できる地元サイクリストの協力

今後の入込増を見据え、準備のチャンス

*観光現場ではジェスチャー等で接遇を試行
*自動音声翻訳等を利用する事例の増加
（参加者からお勧め翻訳アプリの紹介も）

5. しまなみ海道サイクリング体験等実施業務

今治市内の小中学生を対象に、しまなみ海道サイクリング体験及び交通安全教室を実施した。ふるさと今治の魅力を体感し、すばらしさに気づく体験となった。また、サイクルスポーツ振興の振興や自転車事故のない安心なまちづくりにつなぐ機会となった。

① 吉海小学校・宮窪小学校合同サイクリング体験

日 時：令和4年10月3日(月)9:00～10:40

参 加：今治市立吉海小学校・宮窪小学校5年生 児童23名(教員7名)
今治市観光課4名・伯方警察署員2名・ガイド2名

コース：多々羅しまなみ公園から多々羅大橋レモンのベンチ(往復約4km)



② 常盤小学校サイクリング体験

日 時：令和4年10月25日(火)8:50～14:30

参 加：今治市立常盤小学校5年生 児童88名(教員6名)
今治市/観光課7名, 学校教育課1名、総務管財課(バス)1名
今治警察署1名・ガイド3名

コース：サンライズ糸山から椋名みなと公園(往復約15km)



③ 近見中学校サイクリング体験

日 時：令和5年2月6日(月)13:30～15:30

参 加：今治市立近見中学校2年生 生徒45名(教員3名)
今治市/観光課5名, 総務管財課(バス)1名
今治警察署1名・ガイド3名

コース：サンライズ糸山から道の駅「よしうみいきいき館」(往復約14km)



6. 今治市 CYCLE FITNESS リーフレットデザイン作成業務

「サイクルシティ今治」の実現に向け、市民の自転車利用の促進及びマイクロツーリズムの拡大に資するリーフレットを作成した。

① タイトルとデザインの提案

コンセプト「サイクリングを通じた健康的な暮らし、市民のレジャーでの自転車利用等を促す」イメージを包括するデザインを提案、採用した。



《2種提案し、1種を採用》

② 掲載内容の検討

仕様に合わせ、以下の4つの内容を盛り込むこととした。

・表紙：「自転車×美×健康」をテーマに手に取りたくなる誌面に。

今治・しまなみ自転車大使「道端カレン」氏のコラム掲載

・2面：市民が継続的に自転車に乗るモチベーションになる内容。

生活習慣病の予防や自転車に乗ることで得られる健康等の研究レポート等の活用

・3面：マイクロツーリズム等の促進による市民の自転車利用の拡大につながる内容。

身近なサイクリングコースの紹介とサイクリングレポートの掲載

・4面：初心者目線で、幅広い層の方が自転車に乗ってみたいと思わせるような内容

地元のサイクルショップからのアドバイス及び「今治市+CYCLE」紹介

③ 製作と成果物



7. ライフステージに応じた自転車利用の拡大と安全安心ライドの普及

自転車新文化の定着を目指すしなみから、世代を越えて自転車に親しむ機会の創出、走行環境の整備や交通マナーの啓発につながる取組み等を進めた。

① 第11回しまなみランニングバイク選手権

今治商工会議所創立120周年記事業「第1回今治クリテリウム」（四国初自転車ロードレース）同時開催。

日 時：2022年10月29日（土） 9:30～15:30

会 場：今治港 片原大型フェリー駐車場（愛媛県今治市片原町）

参加者数：選手152名・来場者約13000名

② 新来島ドック感謝祭 自転車ヒロバ

日 時：2022年11月5日（土） 9:30～15:00

会 場：新来島ドック（愛媛県今治市大西町新町）

参加者数：体験者約250名



③ カルスポランニングバイク選手権・第9回レインボーハイランドカップ

日 時：2023年2月23日（木・祝） 10:30～15:00

会 場：松山市野外活動センター（松山市菅沢町乙280番地）

参加者数：選手88名・来場者約350名



8. なみかた海の交流センター管理運営事業（今治市委託事業/3か年事業）

新型コロナウイルスの影響で厳しい状況が続く中、昨年度からスタートした「市民ギャラリー」を継続し、写真や絵画、書などの観覧を通して、隣接地域や地域住民の来館を促した。市内の学童、児童や生徒の作品展示、社会人のサークル活動の発表の場づくりにより、芸術・文化を通した市民交流を進めるきっかけとなった。

下半期は旅先でのワーケーションや中長期滞在に求められるヘルスケアの視点をいかし、住民・旅人双方の一時立ち寄り、1階交流スペースのサービス充実を目指した。アウトドアへの社会的ニーズの高まりと、インバウンド再来を見据えた新たなサイクルツーリズムの支援、ワーケーションを含めた宿泊機能の提供準備を進め、持続可能な運営体制構築に取り組んだ。

9. 宿泊業「しまなみゲストハウス シクロの家」「Cyclo cafe & book Hostel なみトみなと」

新型コロナウイルス感染拡大による影響が残りつつも、流行前の状況への回復傾向を感じる1年となった。接客内容の見直し、人員配置の改善など、運営体制に課題を残しながらの運営となった。

「しまなみゲストハウス シクロの家」は、当日予約の来館を見込み、少人数のスタッフながら、開館を継続した。2020年4月から休業状態であった「Cyclo cafe & book Hostel なみトみなと」は今年11月と12月に試験的に営業した。



●スタッフ体制

ワンマンオペレーション対応の臨時的な体制を継続した。

2つの宿泊施設の開業に向け、出向者を迎え、体制強化に取り組んだ。

●covid-19 への対応

「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に則して、宿泊者の安全に努めた。

- ・チェックインカウンター、共有スペース等には手指消毒用アルコール。
- ・タオルの共有は中止し、チェックイン時のハンカチ手渡しと手洗いの実施。
- ・非接触型の体温計での検温
- ・談話室などの定期的な換気とアルコールによる清掃

●ツールやウェブサイトの情報更新

宿泊者向けの情報ツールの更新作業を強化した。

《紙媒体・ファイリング情報》

- ・散策マップ: 閉業店舗、定休日や営業時間の変更が多く、正確な情報把握に努めた。
- ・船やバスの時刻表: 毎月変更があるなど、的確な情報提供に向けた情報収集に努めた。インバウンド旅行者を意識し、英語情報を充実させた。



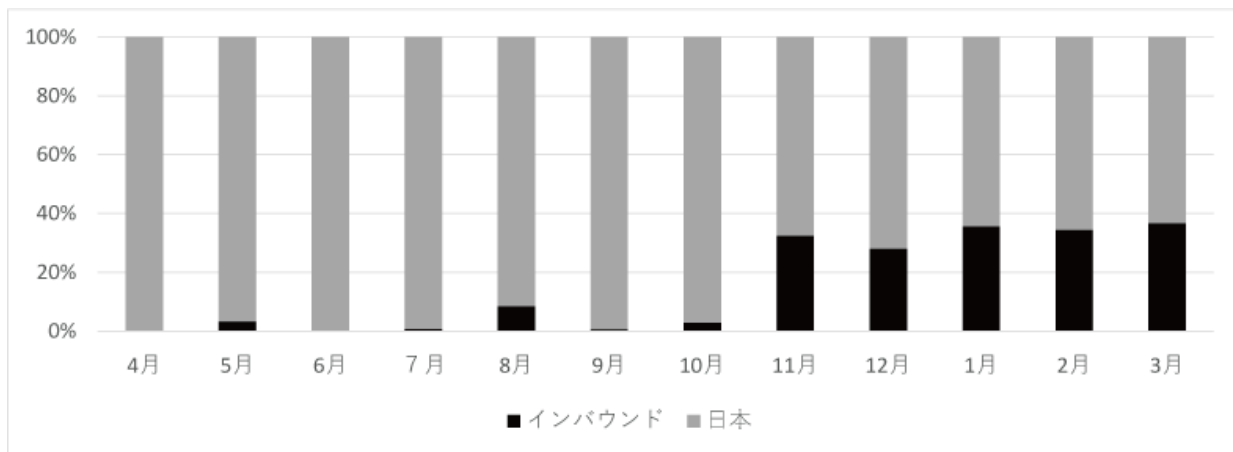
《ウェブサイト》

最新情報の発信に向けた更新作業を強化した。また、使いやすさ、見やすさ向上のため、ビジュアル面のリニューアルも行った。ニーズが高い観光情報ページ「しまなみ海道サイクリング Q&A」「レンタサイクル Q&A」のハウツーページの更新、原付バイクツーリング向けのウェブページの公開により、集客効果を目指した。英語版ウェブページの拡充も行い、アフターコロナを見据えた準備と、旅行者のニーズに対応した細やかなおもてなしのための作業を進めた。

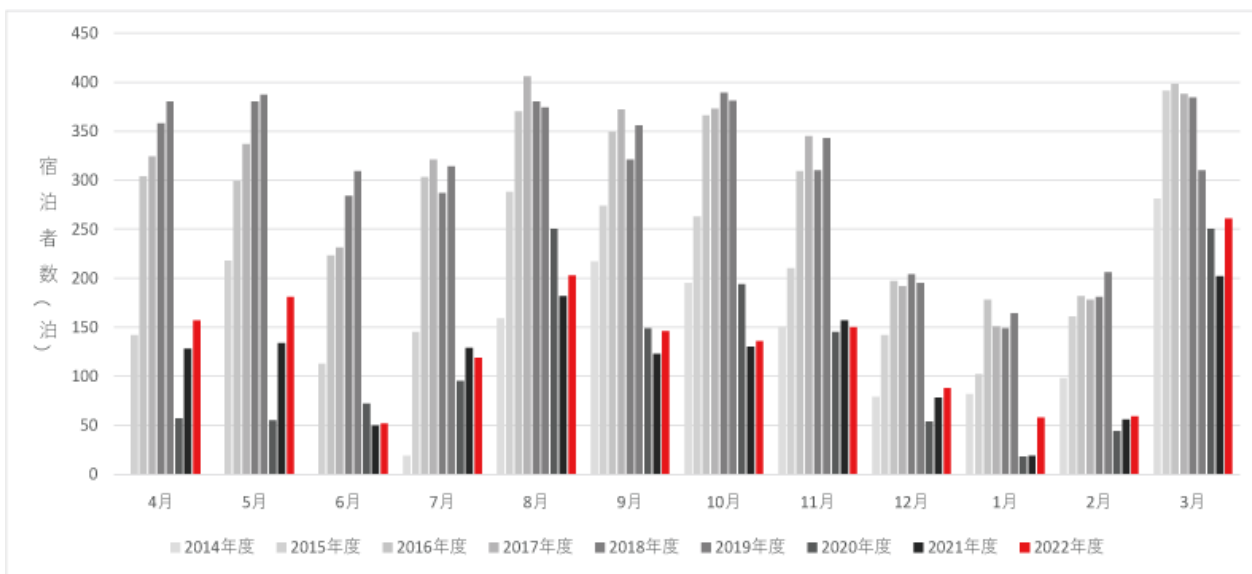


① 宿泊・立ち寄り利用実績（しまなみゲストハウス シクロの家）

年間の宿泊者数は1,610人(泊)(前年度1,388人)となった。前年度よりも222人(泊)、宿泊者数ベースで16%の増加となった。月ごとの動きは前年度と同水準、又はそれ以上となり、2023年1月と3月は大幅に宿泊者数が戻った。カフェ利用やグッズ購入を含む立ち寄り利用は207人となった。季節に左右されるサイクリングや四国遍路目的の旅行者であることから、長期休業がある8月と3月にピークがあり、梅雨時期の6月や、冬季の1月、2月に宿泊者数が減る傾向は変わらない。下半期は海外からの宿泊者が徐々に戻り始める等、段階的に行われた入国制限解除の恩恵があり、「シクロの家」では11月以降は宿泊客全体の3割程度を海外旅行者が占めた。平日の稼働率が上がり、日本人のみの来館であったコロナ禍に比べ、週末や連休に集中する傾向が緩やかになった。

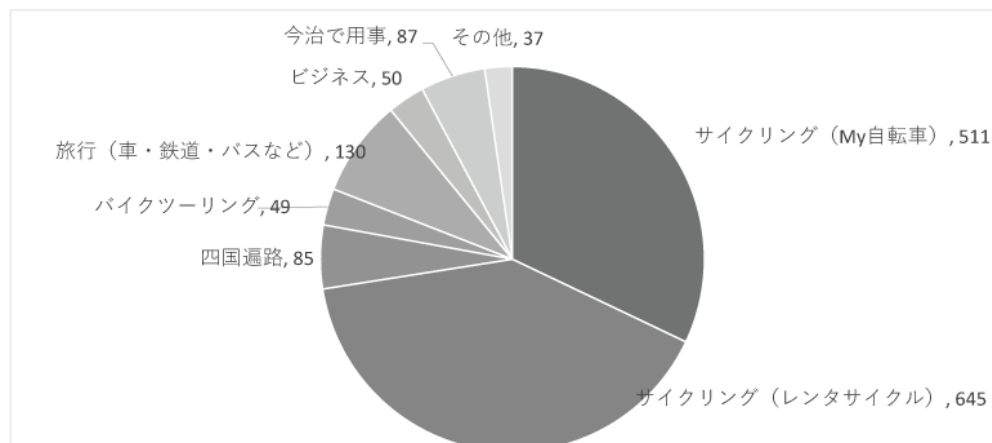


▲《グラフ》月ごとの旅行者数に占めるインバウンドと日本在住者の割合



▲《グラフ》月別宿泊者数。covid-19 による行動制限解除を受け、3 月は 2019 年以前の 7 割近くまで回復。

② 宿泊者の属性と傾向（しまなみゲストハウス シクロの家/チェックイン時アンケートより）

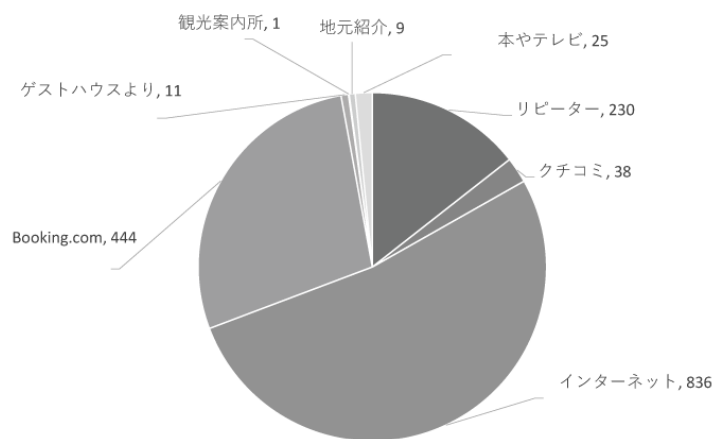


▲《グラフ》来訪目的

サイクリング (My 自転車、レンタサイクル)、四国遍路、バイクツーリング、ドライブ、ビジネス・出張、今治で用事、その他 からの選択。

宿泊者の内、7 割程度がサイクリング目的である。そのうち、自分の自転車 (My 自転車) を持参しての来訪が 45%程度となっている。また、しまなみリピーター (しまなみ海道を自転車で旅行することは 2 回目以上の宿泊者) は 237 名 (サイクリング目的の 2 割程度) となった。ここ数年の傾向と大きな変化はない。

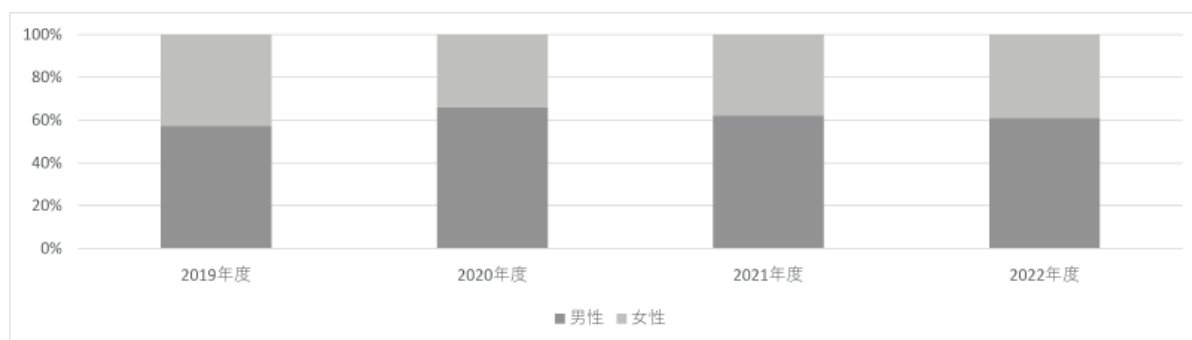
インターネット検索経由の宿泊者が多く、リピーター率は14%程度となった。年々、外部の予約ウェブサイト、Booking.com 経由の宿泊者の割合は増加傾向にある。スマートフォンのアプリケーションを利用して宿泊予約を取る旅行者が増えていることが影響していると思われる。



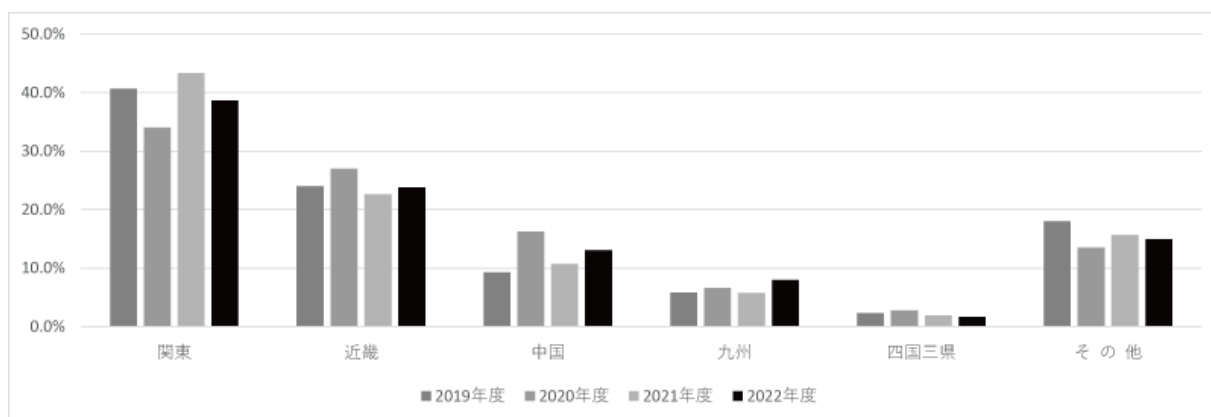
▲《グラフ》予約・来訪の流入経路

リピーター、ロコミ、ネット検索、Booking.com、本やテレビ、他のゲストハウスより、観光案内所、地元の人 からの選択。

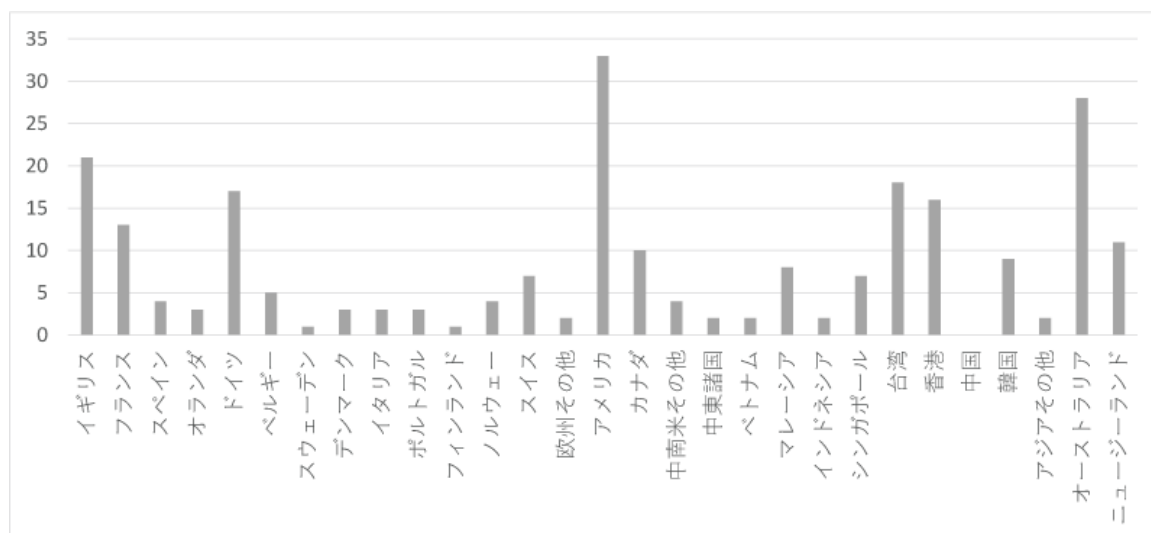
《その他の統計情報》



▲《グラフ》宿泊者の男女比



▲《グラフ》宿泊者の県外者割合

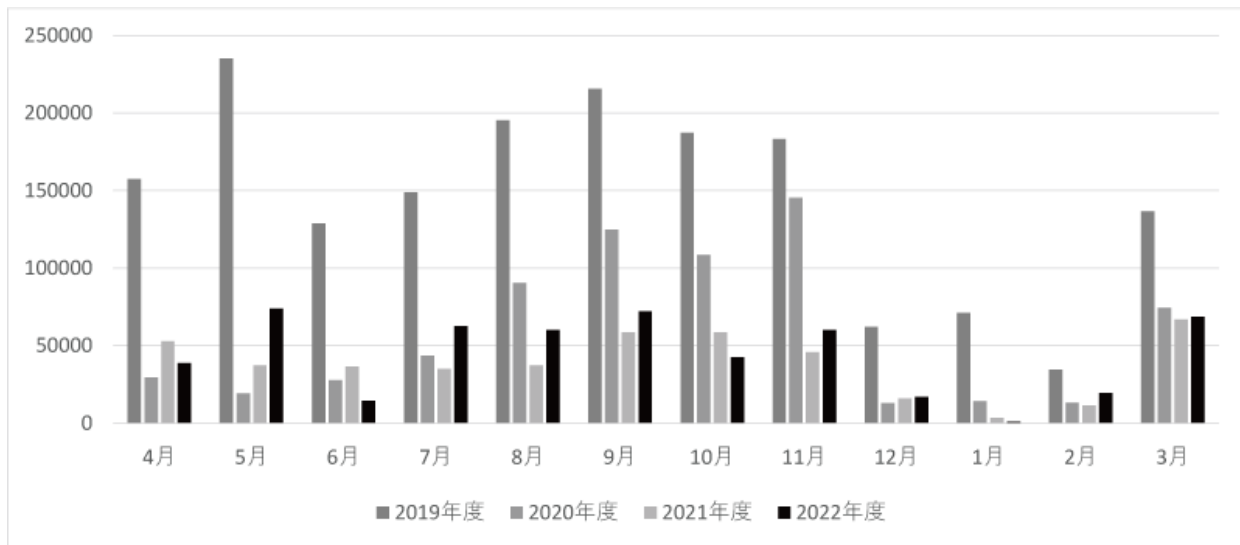


▲《グラフ》国別宿泊者数(シクロの家)

10. 物品販売業

アパレル、グッズ等の土産は、地域内の販売施設（道の駅等）の集客回復が見られ、上向きとなった。一方、インターネットでの書籍を中心とする販売は横ばいであった。

《参考》



▲「ゲストハウス シクロの家」における対面販売の売上(単位:円)

11. 地域限定旅行業

① 募集型旅行

旅行者のニーズに合わせ、着地型旅行商品を造成し、提供した。地域資源の活用、住民との交流を進めた。

■第9回シクロ女子旅(秋)

2022年11月12日(土)・13日(日)/1泊2日

■第12回タンデム自転車祭り

2023年3月20日(土)・21日(日)/1泊2日

② 受注型旅行・ガイド派遣

個人や団体、旅行会社等からの依頼に基づき、オーダメイド型旅行企画及びガイド派遣をした。

《個人旅行》

2022年 9月	しまなみ海道縦断サイクリング（中学生体験ツアー） 2022年9月11日 3名参加
2023年 3月	しまなみ海道サイクリング（インバウンド） 2023年3月6日 2名
	E-bike 大島周遊サイクリング体験 2023年3月24日 3名

《団体旅行》

2022年 6月	しまなみ海道サイクリング（組合員の従業員旅行） 2022年6月12日 6名参加
2022年 10月	しまなみ海道サイクリング（組合員の慰安旅行） 2022年10月8日 22名参加
	来島海峡大橋サイクリング体験 2022年10月25日 4名参加

2022 年 12 月	しまなみハーフライト・オアシス見学ツアー（視察ツアー） 2022 年 12 月 6 日 4 名参加
2023 年 3 月	来島海峡大橋サイクリング体験 2023 年 3 月 20 日 14 名参加
	来島海峡大橋サイクリング体験 2023 年 3 月 27 日 14 名参加

《プレス対応》

2022 年 4 月	しまなみ海道サイクリングの魅力を伝えるロケへのガイド派遣
2022 年 11 月	しまなみ海道サイクリングの魅力を伝える海外旅行関係者へ ファムトリップへのガイド派遣
2022 年 12 月	しまなみ海道サイクリングの魅力を伝える海外旅行関係者へ ファムトリップへのガイド派遣

《しまなみ輪タク》

2022 年 5 月	自転車タクシー「しまなみ輪タク」によるまちなか散策
---------------	---------------------------

《修学旅行》

2022 年 4 月	来島海峡大橋を渡るサイクリング体験へのガイド派遣 ・徳島県/中学校 ・東京都/高等学校 延べ約 180 名
5 月	来島海峡大橋を渡るサイクリング体験へのガイド派遣 ・大阪府/中学校 ・奈良県/中学校 ・京都府/高等学校 ・愛知県/高等学校、中学校・徳島県/中学校 延べ約 640 名
6 月	来島海峡大橋を渡るサイクリング体験へのガイド派遣 ・愛知県/高等学校 延べ約 44 名
10 月	来島海峡大橋を渡るサイクリング体験へのガイド派遣 ・奈良県/高等学校 ・神奈川県/高等学校 ・愛知県/高等学校 延べ約 200 名
11 月	来島海峡大橋を渡るサイクリング体験へのガイド派遣 ・愛知県/高等学校 延べ約 40 名

12. 自転車まちづくり

自転車による地域振興、自転車を活用した健康推進や環境配慮型の取組み等を進める各種機関からの依頼に基づき、講師を派遣したり、現場視察・ガイド派遣による現地ツアー等を行なったりした。

①講師派遣

2022 年 4 月 26 日(水)	自転車通勤を推進する等、健康経営を目指す企業からの依頼により、スポーツバイクの魅力や自転車の規則やマナーを講話。社員の通勤路、会社周辺の交差点での実地ツアーを実施。
2022 年 11 月 10 日(木) オンライン	「散走伝道師」養成研修会の講義を担当。しまなみ地域の愛好者受入基盤「サイクルオアシス」を紹介。住民参加型まちづくりと散走プランニングを講義した。
2023 年 3 月 27 日(月)	自転車の休憩所運営者を対象とした「サイクルオアシス研修会」において、基礎的な知識やおもてなしのポイントを助言。オアシス運営者間の交流や連携について意見交換した。

②視察受入

2022 年 5 月 16 日（月）	北海道十勝の農村を巡るサイクルツーリズムを企画するにあたり、地元の受入体制等の情報収集。ガイドツアーを催行し、サイクルオアシス等を見学。
2022 年 7 月 5 日（火）	沖縄県北部の自治体が、広域連携によるサイクルツーリズム推進による地域活性化を目指すにあたり、県議会の視察団の受入。官民一体で進める受入環境整備と役割分担を共有した。
2022 年 7 月 20 日（水）	兵庫県赤穂市のまちづくりへの見識を深める目的での視察受入。サイクルツーリズム推進の現状と課題を確認し、今後の官民の連携、地域との連携等の展望を共有した。
2022 年 12 月 12 日（月）	サイクリングに関連する事業の発展要因、サイクリングの広域連携について研究を進めるにあたってのヒアリング。卒業論文への話題提供
2022 年 12 月 13 日（火）	霞ヶ浦湖畔に立地し、かつりんりんロードが 23 キロ区間あるまちにおいて、サイクルツーリズムを推進する上でのヒアリング。
2023 年 3 月 21 日（火）	大井川流域サイクルツーリズム協議会を結成し、流域のサイクリングルート開発、体制整備を進めるにあたっての視察。住民参画型の自転車による地域活性化を紹介した。

③審議会・委員会・意見交換会への参加

しまなみの自転車振興や関係機関との連絡調整等に関する会議等に参加した。

2022 年 4/13 (水) 6/30(木)8/17(水) 9/14(水)10/12(水) 11/16(水)	今治ブランド戦略会議/ 今治市営業戦略課	今治市ブランド iimabari の価値を高めるため、多様な主体による目的と計画、実行への参画。今期はイノベーション部会員として、今治ブランド戦略 (i.i.imabari!キャンペーンのロードマップ) 作成令和 5 年度の事業計画の方向性を議論した。
2022 年 4 月	しまなみ海道周遊観光ワークショップ事前会議/ 本州四国連絡高速道路株式会社	来島海峡をいかした観光コンテンツづくり等、商品造成とターゲット層を意識したプロモーション等による集客の検討会議への参加。オンライン。
2022 年 7 月 7 日(木)	しまなみサイクルツーリズム検討会議/愛媛県	しまなみサイクルツーリズムによる地域活性化を目指し、多様なステークホルダーが情報共有。コーディネート機能強化事業等の支援内容を検討した。
2022 年 7 月 21 日(金)	国家戦略特区の 新規提案/今治市 市民が真ん中課	国家戦略特区の新規提案としてチャイルドトレーラーをけん引する自転車通行区分の規制緩和を行うにあたり、意見交換。
2022 年 8 月書面 2023 年 3 月 14 日	しまなみ地域サイクリストマナー向上推進協議会/愛媛県東予地方局今治支局総務県民室	しまなみ地域を訪れるサイクリストの交通ルールの順守やマナーアップへの意識向上対策に関して、取組の基本事項を検討する協議会への参加。
2022 年 10 月 17 日 2023 年 3 月 3 日	愛媛県自転車新文化推進計画策定委員会/愛媛県観光スポーツ文化部	自転車新文化の更なる拡大・深化に向けて、自転車の活用を総合的かつ計画的に推進するための計画を策定。計画期間（2019 年度から 2022 年度）の満了に伴い、次の計画を策定する委員会へ参加。

11. 会議に関する事項について

(1) 総会

①第13回通常総会

日時：2022年5月13日（金）

- 議題：○2021年度事業報告・収支決算報告の件
○役員変更の件
○2022年度事業計画・収支予算の報告の件

(2) 理事会

第1回 日時：2022年5月13日（金）

- 議題：○2022年度事業計画・活動予算の件
○有給役員の件
○スタッフ給与の件
○総会に付すべき事項の件

第2回 日時：2022年6月27日（月）

- 議題：○地球環境基金助成事業の進捗報告
○看板商品造成事業補助申請の件
○2022年度事業の進捗確認の件

第3回 日時：2022年8月2日（月）

- 議題：○情報発信コンテンツ運営管理業務の件
○サイクルフィットネス情報誌発行事業の件
○2022年度事業の進捗確認の件

第4回 日時：2022年8月29日（月）

- 議題：○スタッフ体制の検討の件
○2022年度事業の進捗確認の件

第5回 日時：2022年9月12日（月）

- 議題：○看板商品2次募集採択の件
○なみトみなとの再開の件
○2022年度事業の進捗確認の件

第6回 日時：2022年10月20日（木）

- 議題：○看板商品スタッフ研修の件
○しまなみ海道サイクリング体験事業の件
○サイクルオアシス調査の件
○2022年度事業の進捗確認の件

第7回 日時：2022年12月21日（水）

- 議題：○地球環境基金助成事業の件
○2022年度事業の進捗確認の件

第8回 日時：2023年2月15日（水）

- 議題：○2023年度事業立案の件
○2023年度スタッフ体制の件